玉川上水・野の花だより　No.４９

ノコンギク　*Aster microcephalus* var. *ovatus*

東京大学名誉教授　　中央大学研究開発機構・機構客員教授

石川　幹子

2026 年　10 月 23 日

第三号橋から笹塚橋の右岸の水辺に、点々と薄紫色の野菊が咲いています。ノコンギクです。30～60cm 位の高さで、茎は直立し、まとまってたくさんの花をさかせています。

葉は、長い楕円形で、鋸歯がありますが、写真１にみられるように、深い切れ込みのない優雅な風情です。



写真１　ノコンギク

日当たりのよい土手には、様ざまの野草が、競い合うように生育しています（写真２）。盛夏を過ぎ、外来種のセイタカアワダチソウやメリケンカルカヤ、在来種のアブラススキやアカソなどの、旺盛で背丈の高い植物が繁茂しています。その中で、水際から土手にのぼるわずかな窪地状の場所に群落をつくり、ノコンギクが咲いています。放置すれば、競争に負け消え去っていく野草ですが、人が手をさしのべ下草刈りを行ってきた結果、命が繋がってきました（写真３）。

この 350 年の玉川上水の伝統は、未来へと繋いでいきたいものです。



写真２　土手の野草とノコンギク



写真３　水際に咲くノコンギク　2026 年 10 月 21 日